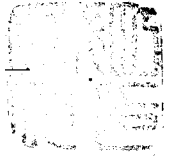




開街発第 9 号
平成 19 年 4 月 23 日

国土交通省道路局長 殿

開成町長 露木 順



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号にて依頼のありました標記について、別添意見書のとおり回答させていただきます。

事務担当は、街づくり部街づくり推進課
基盤整備担当 熊澤 勝己
電話 0465-84-0321（直通）

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

*開成町としては、計画立案のまま先送りとなっている都市計画道路の早急な建設に向けての取り組みを最優先としていただきたいと思います。

まず、道路ネットワークの基本となる幹線道路が建設されないために、狭い生活道路に車が入り込み、地域住民の安全を確保することが難しくなっている実情があります。

ちょうど、土地区画整理事業も進展し、これまで道路建設の障害となっていた問題も解決されたこともあり、早急な取り組みを切にお願いいたします。

また、この幹線道路は、新たに建設する小学校の通学路としても指定できるため、子どもたちの通学の安全に寄与することは確実です。

さらに、新小学校に通う生徒たちも参加して特色ある街路とするなど新たな道作りのモデルケースともなる可能性を秘めているという特別の事情もあります。

(注) 開成町は、児童数の増加のため、新たに小学校を建設するというめったにない機会に直面しています。小学校建設を土地区画整理事業の中に取り込んで、学校建設と街づくりを一体のものとして捉えて進めています。

*生活道路の改善は、家が建て込んでいるため、徐々に進めていかななくてはならない実情にあります。開成町は、町内が平坦であるために、自転車利用環境整備のモデル都市として指定されて、2004年度まで整備を進めてきました。しかし、ネットワークは極めて不十分なままに終わっているのが実情です。

今こそ、こうした特色ある生活関連道路づくりに向けて新たな支援メニューを作成していただき、地方の知恵も活かしながら特色ある道路建設に向けて立ち上がっていただきたい。

自転車道のネットワークづくりは、環境面でも資するところが大きいので、金額は小さくても目玉事業へと発展する可能性は十二分にあると思いますので、決断をお願いしたいと思います。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

少なくとも都道府県単位で全体的な道路建設計画を再点検し、優先順位をつけることが、どうしても必要になってきています。非常に困難を伴うことですが、そうしませんと、あれもこれもという時代ではなくなっているという実情に対応できません。

同時に積極的に情報公開を進めて納得度を高める努力が大切です。情報公開は、結果として効率性を高めることにつながります。効率化しませんと住民の納得は得られませんので、当然の流れとして、効率化の促進要素となります。

その他、単価設定、入札改革などを通じての効率化は、小さな町では、限度がありますので、国として指針を示していただき、指導助言をお願いします。

3. その他

私どもの地域は、富士・箱根・伊豆という世界的観光地に近く、観光的な立地条件が優れています。その一方で、美しい景観を有する観光地の宿命ですが、断層や火山の存在のため大地震など災害が発生すると大きな被害が危惧される地域でもあります。

防災と観光を両立させるという視点に立って、考えますと、道路ネットワークの構築は、不可欠です。リダンダンシーという観点を大切にして、世界的観光地の箱根周辺の道路網のあり方を再検討していただくことを切望します。この地域は、国家的な見地から整備を検討すべき地域だと確信いたしますので、国の特段のご配慮をお願いいたします。

補記

なお、少し古い資料ですが、以前、私が道路に関して地方新聞に掲載したものを添付いたしました。ご一読いただければ幸いです。

2007年4月18日

神奈川県開成町長 露木順一

注：添付資料として下記の3つの掲載記事をいただきましたが、掲載につきましては省略させて頂きました。

- ・ 2002年9月3日付自治新報
「足柄地域における企業誘致と道路整備の必要性」
- ・ 2002年9月13日付自治新報
「足柄地域における第二東名高速道路整備について国、県、市町の合意形成」
- ・ 2003年12月13日付自治新報
「町道（街路）整備の大切さ、整備にあたっての補助金の必要性」